

平成25年度第1回北海道地方独立行政法人評価委員会
試験研究部会 議事録

- 開催日 平成25年4月24日（水）15:15～15:45
- 場所 道庁本庁舎5階 総務部会議室
- 出席者 (委員) 石橋部会長、安達委員、北野委員、細川委員
(事務局) 総合政策部科学IT振興局研究法人室 田中室長、寺前参事、戸田主幹
関上主査、伊藤主査、後藤主任
- 議事 (1) 部会長の選任
(2) 部会長代理の指名
(3) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成25年度計画
(4) その他
- 資料 資料1 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成25年度計画の概要
資料1-2 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成25年度計画
資料2 今後のスケジュールについて

(事務局)

○開会

(研究法人室長)

●挨拶

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき感謝。

木場が兼任しておりました研究法人室長、田中が専任ということになった。よろしくお願ひ申し上げます。

一言、ご挨拶を申し上げますが、日ごろから、皆様方には、道行政の推進に対し、ご協力、ご尽力をいただいておりますこと、また、道総研設立前年より、この委員としてご尽力いただきましたこと、そして今回、引き続き、快く委員にご就任いただきましたことに御礼。

平成22年4月に道総研が発足し、3年。石の上にも三年といわれるが、これまで丹保理事長のもと、法人本部と6つの研究本部が一丸となって、いろいろ研究に取り組み、総合力を発揮した形で頑張ってきている。

しかし、なかなか、研究開発については、早期に成果というか、出口までいかないものもあり、今、現中期目標期間も終盤、4年目となり、法人化したメリットを活かした成果といったものを道民の皆様方にお示しをするなり、還元をするなりしていくという、非常に重要な時期を迎えていると考えている。

本部会においては、地域の期待に応える北海道の総合的な試験研究機関としての、道総研の更なる躍進といったことを期待しながら、業務実績評価の審議等を通じ、忌憚のないご意見、ご示唆、そして、お力添えをいただきたく、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

議事(1) 部会長の選任

(事務局)

- まず、「(1)の部会長の選任」について、「北海道地方独立行政法人評価委員会条例」第6条第3項において、部会長は部会に属する委員が互選することとなっており、事務局では引き続き石橋委員を部会長として提案させていただきたいと思うがいかがか。
～委員同意～

(事務局)

- それでは、部会長に石橋委員が選出されたので、よろしくお願ひする。
これからの議事の進行については、石橋部会長にお願ひする。

(石橋部会長)

- 只今、部会長に選出された石橋。部会長就任にあたって、ご挨拶申し上げます。
本試験研究部会においては、皆様のご協力をいただき、一昨年、昨年と北海道立総合研究機構の業務実績評価に関する円滑な審議を行えたことに感謝。
道総研も設立4年目、第一期中期目標期間の終盤に差し掛かり、今年度は年度評価と、この3年間の中期目標期間の評価をあわせて行うこととしている。
これからの2年間、現中期目標の達成に向けて、また次期中期目標の策定に向けてと、委員の皆様並びに事務局の皆様のご協力をいただき、円滑な部会運営をしていければと考えている。これから2年間よろしくご協力申し上げます。

議事（2）部会長代理の指名

- 部会長
それでは、「（2）部会長代理の指名」だが、評価委員会条例第6条第5項に基づき、部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理することとなっているので、私の方から指名させていただく。
これまで同様、細川委員を部会長代理として指名したい。
いかがか。

～委員了承～

- 部会長
それでは、試験研究部会の部会長代理を細川委員にお願いする。

議事（3）「地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成25年度計画」

（部会長）

- 次に「（3）地方独立行政法人北海道立総合研究機構 平成25年度計画」について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

- 資料1、1-2に基づき、前年度からの変更点を中心に説明。
 - ・ 地方独立行政法人については、地独法第27条に各事業年度の計画を設立団体の長に届け出るものと規定されており、道総研から3月29日に届出。
概括的には、前年度から大きな変更はなく、24年度をベースとして時点修正等を加えており、項目数についても24年度と同様。
 - ・ 特に変更点として特徴的な点は次の4つ。
 - ① 第1の2「総合的な技術支援と社会への貢献」(2) 依頼試験の実施設備等の提供において
22年度、23年度の業務実績評価において、目標値と乖離しているということで2カ年連続でB評価となっている項目。このため、A依頼試験、I試験機器等の設備の提供の欄において、利用増加に向けた対策の取組を追加記載。
 - ② 第1の4「広報機能の強化」(1) 道民への広報活動において
昨年度の当部会の評価における部会のご意見を反映した内容に修正。
 - ③ 第2の1「組織運営・体制の改善」(2) 組織体制の改善において
具体的な内容について、今年度道総研において検討される予定となっているが、「次期中期計画を見据えて「組織体制の見直し方針」の検討を行う」ことが新たに追加。
 - ④ 第4の1「施設及び設備の整備及び活用」(2) 施設等の整備において
これも次の中期計画を見据えといったところで、現在保有する施設の更新が必要となる時期、そのための費用といったものを内容として、施設の更新シミュレーションを今年度行うということで、新たに追加。
 - ・ 各研究推進項目については、一昨年度の当部会のご意見を踏まえ、昨年度から当該年度に実施する代表的な取組事例について記載、時点修正。

（部会長）

- この件について、ご質問はないか。

～委員質問なし～

(部会長)

●よろしいか？

では、以上で議事（3）を終わらせていただく。

議事（4）その他

(部会長)

●次は、（4）その他として事務局から願います。

(事務局)

○資料2に基づき、今後のスケジュールについて説明

- ・今年度以降、中期目標策定に向けた検討が必要であり、改めて具体的に説明させていただく。
- ・年度評価は基本的には昨年度同様に進めて参りたい。
- ・第1期中期目標・中期計画が26年度で終了することから、次期目標の策定に向けて、平成22～24年度までの3年間の評価を24年度の年度評価と同時に進行、最終的には8月の当部会において、審議、決定いただきたい。
- ・この中期目標達成状況等評価を踏まえ、「法人運営の継続性」、具体的には次の5年間についても道総研に業務を継続させることが適当であるかどうかという基本的な方向性についてご意見をいただきたい。あわせて次の中期目標の検討にあたっての留意すべき事項等として「中期目標等策定にあたっての基本的考え」とさせていただいているが、これに対しても審議いただきたい。
- ・この後、次期中期目標の検討に着手し、来年の4月に予定している当部会において、第2期中期目標の素案をご報告し、ご意見をいただき、6月の26年第2回道議会定例会に報告し、パブリックコメントを実施、修正を加えた上で、7月の第2回の当部会に原案として再度ご報告。ご意見をいただき、その後道関係部と協議後、再修正したものを8月の第3回の部会で目標案としてご報告し、評価委員会のご了解をいただいた後で、9月の第3回定例道議会において議決、次期中期目標として決定されるといった運びで現在のところ予定。
- ・この中期目標を受け、道総研において、次期中期計画を策定、2月～3月に第4回の当部会において、審議いただいた上で中期計画を認可することを予定。

(部会長)

●事務局の説明について、何かご質問、ご意見なりあれば、願います。

(部会長)

●「法人運営の継続性を判断」するとか、「次期中期目標の策定における基本的な考え方」、この辺においては、概ねそういう考え方で次期中期目標を策定していくという考え方に基づいているものか。

(事務局)

○「継続の方向性の判断」ということで、中期目標の達成状況等評価で3年間の評価をしていただき、引き続き継続するのが適当かどうか、評価委員会からご意見をいただくということを考えている。「目標の策定にあたっての基本的考え方」というのは、例えば、道の施策との目標の明確化を図るとか、記述において、第1期の場合は、中期計画、年度計画のレベルがうまくあっていないということもあり、そういった策定の上での大きな基本的な方向性というか、共通認識を持つための下地のようなものを考えており、そういったものを一括して8月あたりに審議していただくことを予定している。

(事務局)

○最後に、7月に予定している第2回の部会の持ち方について、昨年度は、午前中に6研究本部からのプレゼン実施、午後からヒアリング、審議という流れで、プレゼンの時間が短いのではないかとのご意見もあり、また今年度は年度評価に加え、3年間の評価というのもあり、時間的に厳しいと思っており、2日に分けた実施についても検討中。

道総研では対応可能との話もあるが、委員の皆様のご都合など、また別途ご相談させていただければと思う。

(部会長)

●昨年は、各研究本部長から説明いただいたが、今年度は何か別のことを考えているのか。

(事務局)

○同じような説明を考えている。ただ昨年は研究本部長ということだったが、今回は現場の方でもということで話をしている。

(部会長)

●去年の場合、時間の都合で、質疑がなく、聞きっぱなしの部分もあったので、その辺も少し考えていただければと思う。

●それでは、特にその他委員の皆さんからご意見がなければ、これで第1回の試験研究部会を終了したいと思うが。

～委員意見なし～

●では、これをもって、第1回の試験研究部会を終了する。

(事務局)

○閉会